

IGF 2023に向けた国内IGF活動活発化チーム第15回会合

ご注意:

- ご参加いただいた方はすべて議事録にお名前とご所属が掲載され公開されます。
- ご発言の際は以下をご了承の上ご発言ください。
 - 本会合での発言内容はすべて録音・録画されたうえで公開されます。
- ビデオをオンにされますと、ミュートしていても顔映像が録画公開される場合があります。

日時: 2022年3月7日(月)17:00-19:00

参加者(五十音順・敬称略):

場所: オンライン開催

司会進行: 本田さんが担当することとなった

資料:

1. [2022年事前会合／本会合に向けた体制案](#)
2. (igf2021:415添付)2022秋イベントの推進体制について(ディスカッションペーパー)
3. [プログラム委員会の進め方\(案\)](#)
4. [ユースIGFイベントについて](#)

アジェンダ:

1. 本日の打合せの目的確認 [5分]

- IGF2023ホスト(政府)としての検討状況の共有
- IGF 2022事前会合／2022年国内IGF本会合の推進体制について
- 本格体制／組織化について

2. 前回議論の振り返り [10分]

第14回会合の概要[資料]:

- IGF2023ホスト(政府)としての検討状況報告
 - 2022年のIGFのスケジュールが共有された。
 - IGF 2022は11月から12月に開催予定、現地開催となるかは検討中
 - 夏以降にIGF事務局から視察団が来日予定、その際にホスト国政府やその国のナショナルコミュニティに面談するそうなので、皆さんに参加を依頼する可能性あり
 - その際に日本の国内IGFができていないと恰好がつかないのか(堀田)
 - そのようなことはないが、あった方が望ましいだろう(飯田)
 - IGF 2022年次会合までには、国内IGFとして顔を出せるようにすべき(上村)
 - 今年後半にはAIの国際会議である[Global Partnership on Artificial Intelligence \(GPAI\)](#)¹のサミットが日本で開催予定
 - 来年前半にはG7関係閣僚会合が日本で開催
 - 省内の検討も少しずつではあるが進んでいる
- IGF MAGメンバーからの報告
 - 第1回MAG会合と第1回Open Consultationが2月22日から24日にかけてリモート開催予定。6月の第2回MAG会合は対面開催を検討中。
- 2022年のスケジュール

¹ AIに関するグローバルパートナーシップの設立・参加(総務省)

https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin06_02000204.html

- 2023年のIGFにセッション提案を行うにあたって、スケジュールはどうなっているかの質問があった。MAG会合やIGFのスケジュールは毎年ほぼ同じなので、推測したものを資料として作成した。
- 事前会合という名称は腰が引けているので、本会合と命名すべき。
- セッション募集開始を早め、3月中とした方がよい。
- 公募セッションだけだと、後から来た人々が入れなくなるので、プログラム委員会セッションを追加するなどして、何層かに分けた構造とした方がよい。
- IGF 2021報告会振り返り
 - 運営体制はしっかりしたものを事前に作っておきたい。
 - 高校生がユースとして参加したのは非常によかった。今後ユースをどうにかしたい。
 - アンケートに書かれていた、「誰のためのガバナンス」というキーワードを当日の議論で拾えるとよい。
 - どのセッションも時間がぎりぎり、最後に1つだけなら参加者から質問を拾えた、という進行だったと思うので、質疑の時間には余裕を持たせるべき。
 - 質問が出やすくなるよう、Zoomの投票機能を使う、質問を投げかけて(その場で)意見を書き込んでもらうなど行ってはどうか。
- 組織化
 - 次の2つの機能に大別できる。
 - オープンコミュニティ: 会合内容やエンゲージメントに責任を持つ(MAG/プログラム委員会含む)
 - 総会・理事会: 事務局組織の運営に責任を持つ
 - 活動主体は企業か個人?とあるが、個人ではないか。
 - もう少し具体的に、法的な構造を考えておいた方がよいのではないかと。日本の制度だと一般社団法人になると思う。その中に委員会活動やタスクフォースという形でIGF活動を実質的に行うやり方が、これまでの議論内容に当てはまると思う。
 - 一般社団法人の社員=会員と、活動主体とは同じでなくてよい。
 - コミュニティからの信託を受けていることを積極的に表した方がよく、指名委員会(NomCom)、有識者が公益性を担保する、などを設計に盛り込む必要がある。
 - 寄付額に関係なく社員総会では1票といったルールを決める方がよい。
 - 事務局の規模は年間1千万円をひとまず前提とするが、一般社団法人化すると費用感がどう変わるかは調べておこうと思う。

3. 宿題の進捗確認 [5分]

No	状況	内容	担当	期日	実績	備考
19		第8回会合の議事録案を作成	前村			
20		第8回会合の議事録案のラストコール実施	山崎			
21		第8回会合の議事録案を公開	山崎			
34		事前会合レポート作成	山崎	12月上旬		
36	完成	新体制案作成	前村			一旦完成として版毎に別途起こす

38		第9回会合の議事録案を作成	山崎			
39		第9回会合の議事録案のラストコール実施	山崎			
40		第9回会合の議事録を公開	山崎			
47		第10回会合の議事録案作成	山崎			
48		第10回会合の議事録案のラストコール実施	山崎			
49		第10回会合の議事録を公開	山崎			
54		第11回会合の議事録案を作成	山崎			
55		第11回会合の議事録案のラストコール実施	山崎			
56		第11回会合の議事録を公開	山崎			
61		第12回会合の議事録案を作成	山崎			
62		第12回会合の議事録案および録画のラストコール実施	山崎			
63		第12回会合の議事録を公開	山崎			
66	完了	第12回会合の録画を公開	山崎			
71	完了	本格体制＞議論準備	前村			36と同様
72		第13回会合の議事録案を作成	山崎			
73		第13回会合の議事録案のラストコール実施	山崎			
74		第13回会合の議事録を公開	山崎			
77	完了	第13回会合の録画を公開	山崎			
79		2022年・2023年のスケジュール案作成	山崎			
80		IGF報告会＞資料を公開	山崎			
81		IGF報告会＞録画を公開	山崎			
82		第14回会合の議事録案を作成	山崎			
83		第14回会合の議事録案のラストコール実施	山崎			
84		第14回会合の議事録を公開	山崎			
85	完了	第14回会合の録画を作成	山崎			
86		第14回会合の録画のラストコール実施	山崎			
87		第14回会合の録画を公開	山崎			
88	完了	第14回会合の資料掲載	山崎			

4. IGF2023ホスト(政府)としての検討状況報告 [5分]
5. IGF MAG報告[5分]
6. 秋イベント(事前会合/本会合)について [20分]
 - 推進体制について
 - プログラム委員会の進め方について
 - プログラム委員会の立ち上げを決める
 - 去年のプログラム委員に2名より声掛けをする
 - 公募セッションの評価だけでなく、担当を持ってプログラムの作り込みに責任を持つ
 - プログラム委員会チャーター範囲(エンゲージ入れるか、等)は今日決めなくてもよい/決められなかった
7. ユースイベントについて [10分]※議論せず
8. NRI組織枠組み/仕組みについて [20分] ※議論せず
 - 組織形態
 - 事務局体制
 - コスト負担
 - 今後のエンゲージメント活動
9. 本日の議論を受けたTodo確認 [5分]
 - 秋イベント
 - プログラム委員の増員>去年のプログラム委員に上村・本田2名より声掛けをする
 - プログラム構成の提案
 - 秋イベントまでの工程表作成
 - ユースイベント
 - ※議論せず
 - NRI組織枠組み
 - ※議論せず
10. 次回打合せについて[5分]
 - 次回アジェンダ(たたき台)
 - 秋イベント
 - ユースイベント
 - NRI組織枠組み
 - 次回打合せの開催時期(3週間おき開催が原則)
 - 本日から3週間後の3/28(月) 17:00開始としたいが問題ないか?→25日金17:00開催とする
11. その他 [5分]
 - 本田さんより、「[ウクライナ関連動向がインターネットガバナンスに及ぼしている影響](#)」について扱ってはどうかという提案があった

以上